

特42

823

繪本太閤記 全



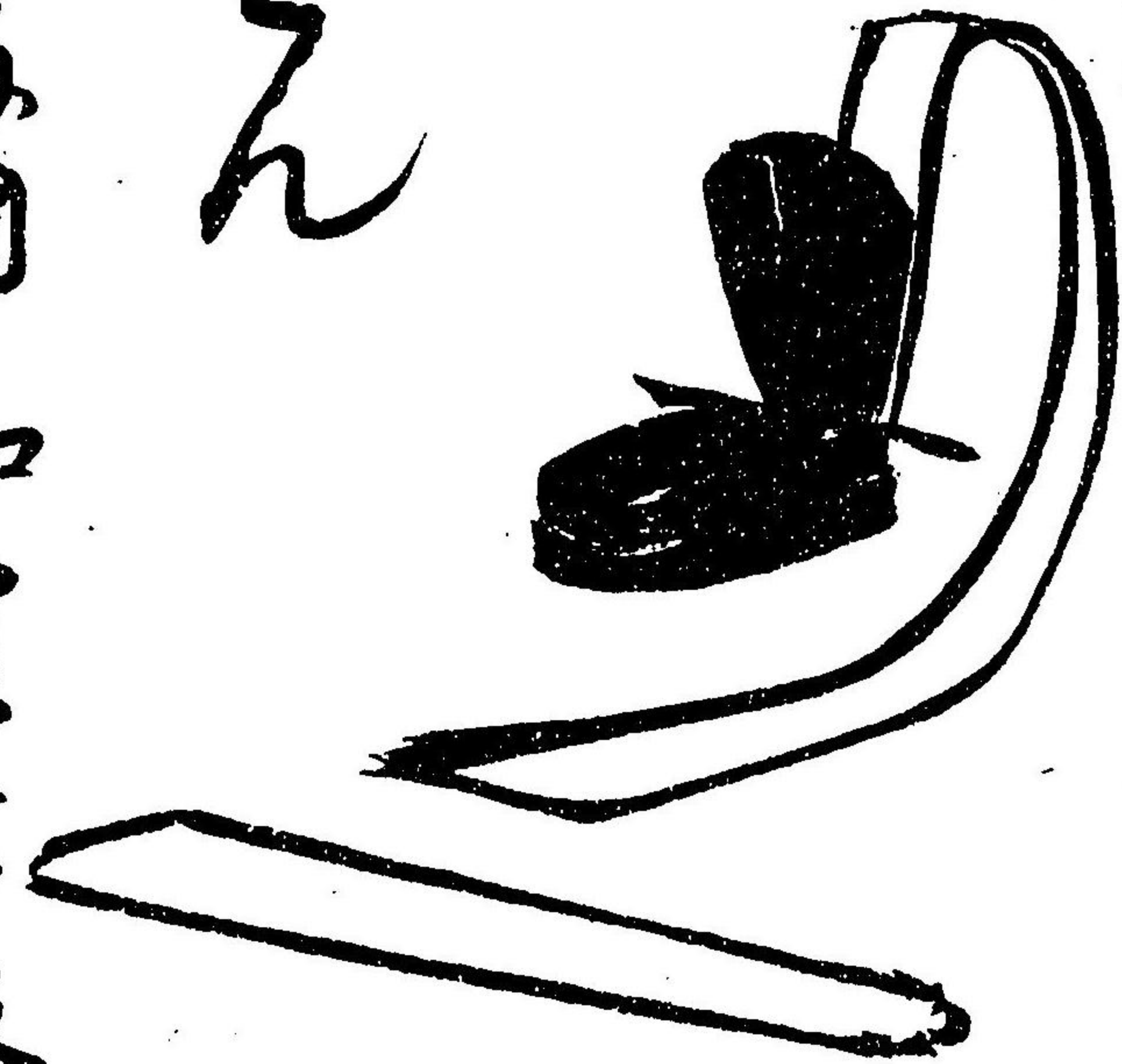
特42 4/25633/23
823



小

祝
記
元

英國
加賀吉
版





加藤孫六

其内

石川兵助

如法法師丸

長谷川利秀吉

福島市松

平野権平

片桐助作

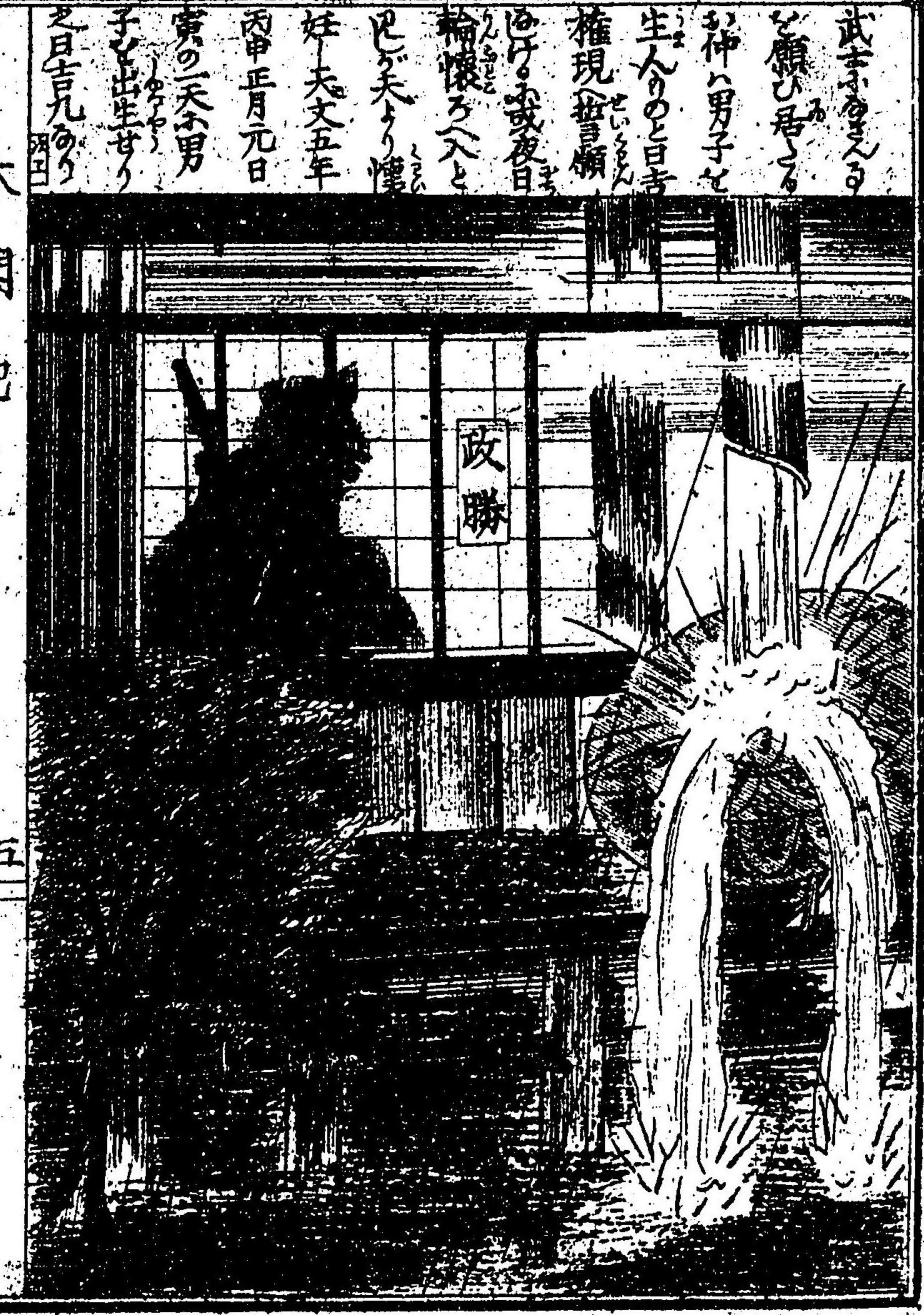
加藤虎之助







武正日吉丸の生れし時
其母は郡中某
は日吉丸の生れし時
其母は郡中某
は日吉丸の生れし時
其母は郡中某



武正日吉丸の生れし時
其母は郡中某
は日吉丸の生れし時
其母は郡中某
は日吉丸の生れし時
其母は郡中某

く
月
己
五

光陰矢の如く日吉丸七
才の頃寺入を讀書



士才の頃多う三千八度日吉丸

這度(家)入ら海東郡峰

須賀村小六政勝義気

あるとき身せ小六小奇

る小六日吉丸の凡るら

ぶるを見ふとも懇切

る入或日小六日吉丸

の智恵を試しを什

宝と世千手於正の銘

念を我い知らばさ

取得(り)て入申大し

とふ日吉格(び)其

夜枕元(ふ)じも元

守(り)至(る)お(の)正

六

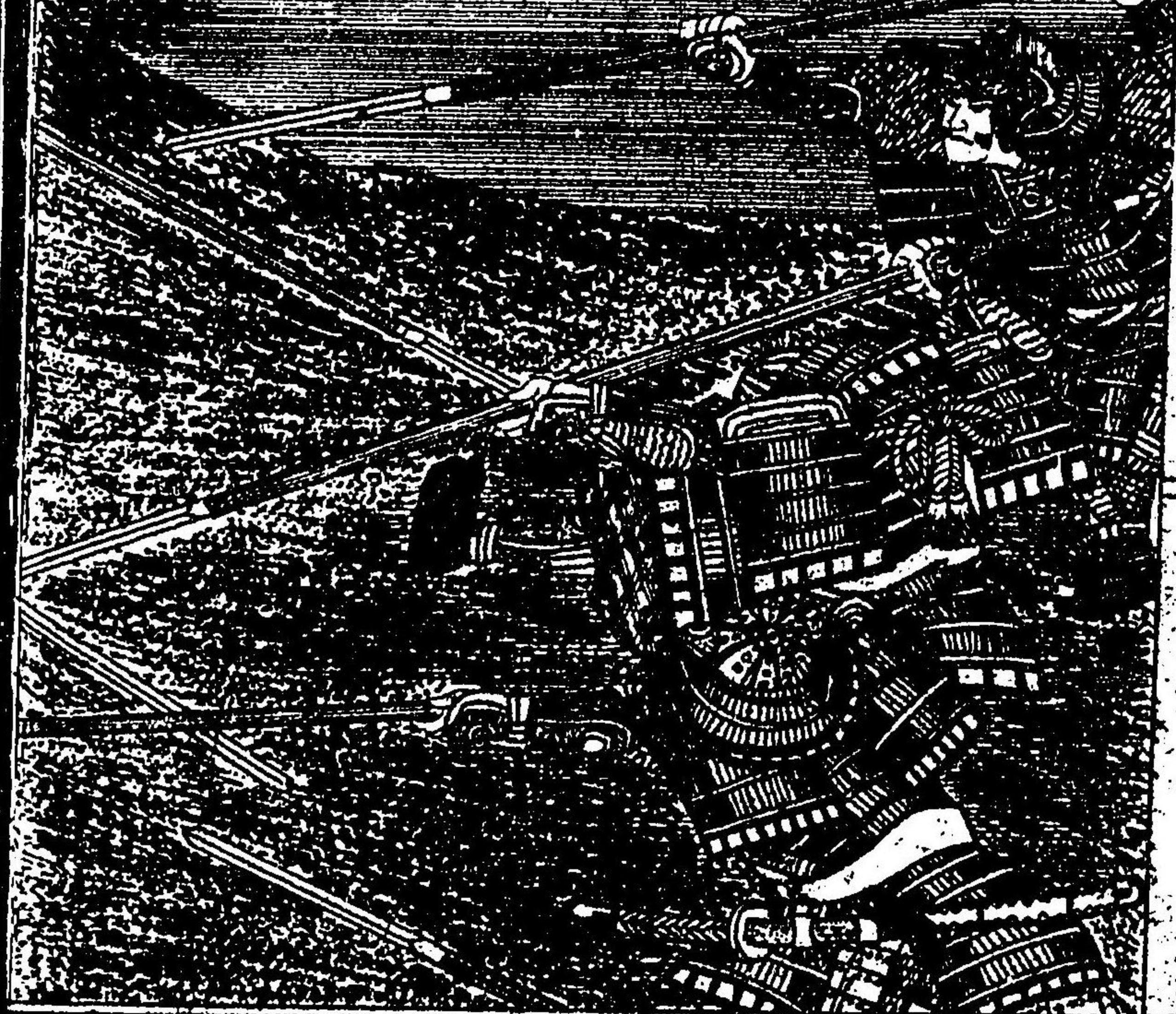




日吉丸十八才此条今
 川と戦ひ起り 松下も出陣
 世が目吉丸
 召つれは藤
 古郎と故
 止まらんあ
 借りて銀を
 追ひて主人の前
 下りては

西面より雨のふる音のいどより今
 雨のもよみ音たけり板をそと小六のお気
 じとられ外面のとも見つめ居しお夜
 のめしと明もなれるふありし村正の間の
 とるるふおとらたし其相見せむも
 日吉丸十五才とあり下先名郷（立戻ら
 んと政勝の家を討し清洲へ帰り父母
 の御前へ入り僧頭光坊因東へ配れ
 んとておまゝに僧小僧の東國へ下りし
 清洲より今川家の陣師松下嘉平次
 女房丸吉丸と見ゆりお目吉丸の凡
 なるはと見ゆ日吉丸と云く松下お仕へ登
 の御前へ出陣の業を学ひ夜の軍学にお服

日本能事、夜討、
 秀吉、報、關、平、利、和、議、
 逆、賊、光、秀、討、之、至、利、有、
 四、深、慮、也、感、上、天、年、秀、吉、
 深、山、寺、下、光、秀、亡、之、
 奉、上、將軍、正、當、將、領、
 之、田、關、平、利、
 賊、敵、平、利、
 方、陣、本、國、北、方、
 秀、吉、の、威、を、
 皆、之、伏、毛、四、男、
 部、之、討、つ、子、
 降、秀、吉、太、政、大、



白、陣、白、と、ある、
 方、陣、

十





出帆せり朝舞國を切り

隨之度兵を引上り

明の善人の心組

よき天古今

△たぐりな地

英将あり今

の世の秀吉

の美名専

あそ

明治廿三年八月廿七日印刷

日本橋區吉川町五番地

著作兼 発行所 堤 吉兵衛

藻沙草近世奇談

初編より

引續出版

松飾徳若譚

六編より

追々出版

今朝の春三組盃

三編より

追々出版

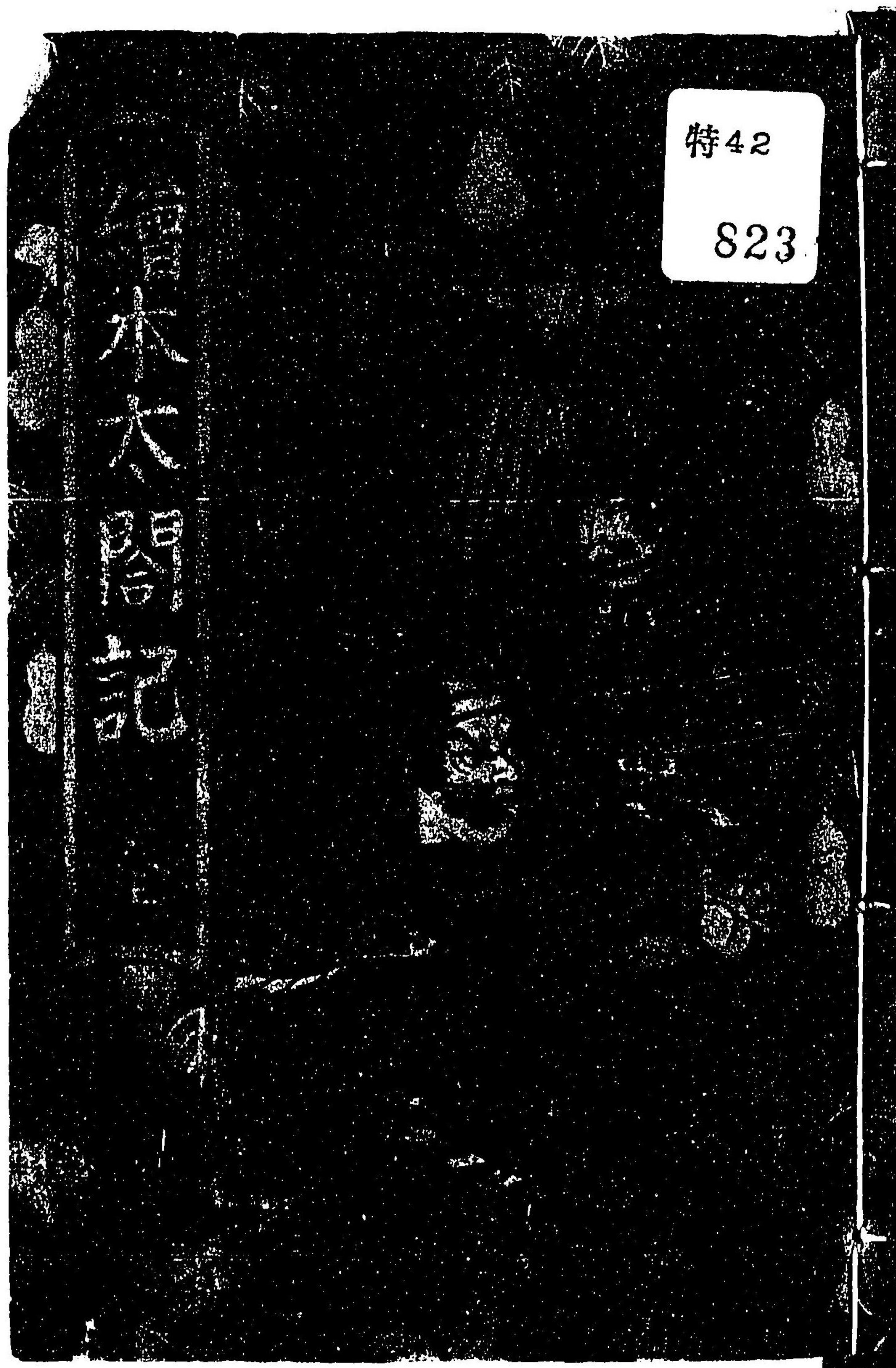
御届 神田區仲町二丁目六番地

明治 年 月 日 編輯人 篠田久次郎

日本橋區吉川町 七番地

東地本錦繪問屋 出版人 堤 吉兵衛





092037-001-2

特42-823

[繪本]

堤 吉兵衛 / 刊

M23-24

DBP-0928

